



「聖潔の福音と神の力があるから、伝道がやさしいです」

ジョシュア・トウン(インド・メーガラーヤ州シロン市在住)

私はヒンズー教徒でした。心臓を病んでいた母は、クリスチャンの祈りを受けた後に良くなって、キリスト教に改宗しました。これで家族のほとんどが改宗しましたが、私は4年後にやっと主を受け入れました。

ヒンズー語版「万民ニュース」を読んでマンミン宣教センターに電話

1999年のある日、私の家で訪問礼拝がありました。礼拝に参加しない私はひとりで隣の部屋にいました。賛美の声が良く、耳を傾けていました。説教者が読んだ聖書の一節を聞いて、私は感動しました。「女が自分の乳飲み子を忘れようか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとい、女たちが忘れても、このわたしはあなたを忘れない。」(イザヤ49:15)というみことばでした。これをきっかけに私は主を受け入れて、偶像を拜んで酒を飲んで放蕩していたことを悔い改めました。前のようなことはしないで、毎日祈って、神のみことばとお祈り生きようと思いました。人生の中でいつも主の愛と祝福を捜し求めていました。

さて2009年5月のことでした。アッサム州グワーハーティー市にあるウム・ブックスの書店に行くことができました。そこにあったヒンズー語版「万民ニュース」を読んで、大きい恵みを受けました。新聞にあったデリー・マンミン宣教センターに電話しました。ラジュ兄弟は私が知りたいことを教えてくれて、DVD「神の力」を手渡し、それから「万民ニュース」が送られ始めました。

DVD「神の力」と信仰書に大いに感動して

イ・ジェロク牧師の祈りで神の力あるわざが現れた内容が入ったDVDを見ながら、私は感電したようでした。御霊に感じていました。私は驚く神の力を体験するだけでなく、他の人にも伝えたいと思いました。2009年7月にはデリー・マンミン宣教セ

ンターにイ・ジェロク牧師の著書を送ってほしいと頼みました。私は『十字架のことば』をはじめ『信仰の量り』『天国』『地獄』『目ざめよ、イスラエル』など7冊の本を読みました。福音を伝えずにはいられません。特にイエス・キリストを通した「救いの道」と「十字架の摂理」が込められた『十字架のことば』と主のかたちに似せられていく近道を案内する『信仰の量り』には、他のどこでも聞いたことのない感動的な内容が含まれていました。

インド、ネパール、ブータンにも聖潔の福音と神の力を伝える

2009年12月22日にはインドのメーガラーヤ州シロン全地域をカバーするケーブル放送局を訪ねて行きました。自費で「神の力」が放送されるようにしました。

今、私はDVDプレーヤーとテレビを車に載せて、村や教会などで「神の力」を見せています。続いて「十字架のことば」について伝えれば、多くの方が感動します。また、イ・ジェロク牧師の祈りで海の苦い塩水が甘い水になった「ムアの甘い水」を紹介し、これで信仰をもって使う人は誰でも、いやされて改宗するみわざが現れています。自宅の部屋一つをマンミン事務室にしました。「万民ニュース」とイ・ジェロク牧師の著書、ムアの甘い水などを備えて、ほしいという方に渡しています。

私は2009年12月23日以降、DVD「神の力」120枚をネパールの教会に送りました。仏教国家で妻の故郷ブータンに行っても、福音を伝えました。今はカーン族(インド、バングラデシュ、ネパールの山間民族で、約136万人いる)に伝道するためにカーン語を学んでいて、専門の翻訳者に頼んで伝道資料を翻訳しました。MIS(マンミン国際神学

校)で学んだ教材を用いて、今後さらに聖潔の福音を伝えることに最善を尽くそうと思います。

悪い霊が離れるみわざで100以上の世帯が改宗

アッサム州テブラの山間の村に住んでいるスニタ・ミルダ(女性、20才)は悪い霊に1年間苦しめられていました。物を投げると暴れまわって、部屋に監禁して家族がいつも見守っていなければならなかったのです。何人が牧師が来て祈ってくださいたのですが、良くなりませんでした。ところが、彼女のお父さんがマンミンの働きを知って、娘のためにイ・ジェロク牧師に祈りを受けたいと言われました。

私はこの事情をキム・サンフィ牧師(デリー・マンミン宣教センター)に知らせました。キム牧師はソウルの万民中央教会に祈りを代わりに受けてくださいました。その後、驚いたことに彼女は悪い霊から解放されて、今は元気です。

これによって彼女の家族と村の人たちがヒンズー教からキリスト教に改宗するみわざが現れました。初めは20余りの世帯でしたが、今は周りの村にまで伝えられて、100以上の世帯が改宗しました。彼女のお父さんが影響力のある人だった上に、親戚が周りに集まって住んでいたの

で、さらにすみやかに福音化されたのです。ハレルヤ!



ヒンズー語版「万民ニュース」を伝えているジョシュア兄弟

デリー・マンミン宣教センターは堂会長イ・ジェロク牧師の信仰書とヒンズー語版「万民ニュース」、GCN放送を通し、インド全域と周りの国にまでキリスト教ネットワークを構築しました。

「北東インドでも世界教区化は進められています」



キム・サンフィ牧師(インド・デリー・マンミン宣教センター担任)

堂会長イ・ジェロク牧師の著書はとても人気があります。インド聖書公会(Bible Society of India)のマネジャー、フィリップ牧師は千冊以上のキリスト教の本を販売された方です。しかし、『十字架のことば』ほど感動を与えた本はなかったと言っています。ヒンズー教徒、シーク教徒が書店に来れば、『十字架のことば』を薦めているそうです。この本は牧会者はもちろん、すべての人が必ず読まなければならない本だと強調しています。

また、ヒンズー語の「万民ニュース」を多数印刷して、遠方には郵送しています。キリスト教書店と教会など200のキリスト教団体と1000人以上の聖徒たちに郵送しています。好評です。

本と「万民ニュース」を読んでイ・ジェロク牧師に現れる神の力に接した人々がハンカチ集会(使徒19:11-12)とセミナーを開いてほしいと依頼しています。このように北東インド地域にはケーブル放送局を通し、24時間GCN(世界キリスト教放送ネットワーク)番組が放送されています。

最近デリーはもちろん、メーガラーヤ州シロンをはじめ、隣接したネパール、ブータン、バングラデシュまで福音が広がっています。ジョシュア兄弟のような働きと主のしもべがあちこちで協力して、世界教区化の一役を担っています。すべての感謝と栄光を神様にささげます。

01 ニュース

十字架の愛と苦しみを覚えて、賛美と祈りで恵みに満された金曜徹夜礼拝

02 いのちのみことば

いやす主 すべての病気には原因がある。神の公義と愛を悟って、その原因が何かを把握して解決すれば、すみやかにいやされる。

03 企画特集

口から出す言葉に気がつけていますか? 口から出す言葉に気がつかないことで、祈りの答えと祝福が遅れることがある。神の子として口に出すべき言葉とそうでない言葉が何かを調べてみる。

04 証し

「聖潔の福音と神の力があるから、伝道がやさしいです」 ヒンズー教の国インド、ネパールと仏教国ブータンまで、生ける神を証してイエス・キリストを大胆に宣べ伝えているインドのジョシア兄弟の証し。

万民ニュース

第102号 2011. 4. 24. MANMIN NEWS TEL: 82-2-818-7042 www.manmin.org/Japanese

十字架の愛と苦しみを覚えて、賛美と祈りで恵みに満された金曜徹夜礼拝 イ・ジェロク牧師「創世記講解」のメッセージで話題集める!



今年4月1日、本聖殿にて金曜徹夜礼拝1部でイ・ジェロク牧師の「創世記講解」に聖徒たちが耳を傾けている。2部の賛美と祈りは聖霊に満たされた時間で、特別賛美と証しなど多様なプログラムも用意されている。

「わが心の望み、主に会うこと、どこか誰にもなかった、主のたもう望み…」

この賛美を歌いながら、賛美リーダーとコーラス、会衆がこら然一体となった。両手を胸に当て、涙を流しながら喜びと感謝で賛美する聖徒たちの姿が美しい。

その後、「進め! 進め! 世界へと」と手をたたきながら力強く賛美し、賛美リーダーは講壇から降りて、聖歌隊の前で賛美を導いた。続いて「愛する聖徒の皆さん、民族福音化と世界宣教のために祈りましょ

う!」と祈禱課題を出すと、聖徒たちは切に祈り始めた。毎週金曜日夜11時から翌朝4時まで、人々が深い眠りについている時間だが、本教会では熱い信仰をもって目を覚まして祈り、聖霊の炎で世を照らしている。イエス様が十字架につけられて死なれた金曜日覚えて、翌朝まで徹夜で礼拝をささげている。

万民中央教会の金曜徹夜礼拝はインターネットと衛星、GCNを通して全国・全世界から参加し、国と人種、教派を超えた礼拝である。英語、中国語、

日本語、スペイン語、フランス語、モンゴル語、ロシア語の7か国語で通訳されている。特に毎月最後の金曜日はいやしの集会が開かれ、多くのいやしと答えのみわざが起きている。礼拝1部では、2009年6月26日から「創世記講解」のメッセージが伝えられていて、堂会長イ・ジェロク牧師は神の創造の摂理と人間の救いのみわざについて取り次いでいる。「創世記講解」は進化論など神に立ち向かう思想と理論が支配的なこの時代に、大きな関心と話題を集めている。世

界の始まる前の世界と天地創造、エデンの園、ピラミッド、恐竜など驚くべき奥義も明らかにされている。創世記1:1「初めに、神が天と地を創造した。」というみことばを約5か月間、21回にわたって深く説明した。ビジュアル資料まで使って詳しく伝えられている。

チュンチョン、マサンなど韓国の支教会から、慕う聖徒たちがソウルに来て礼拝をささげている。クアンジュ万民教会のキム・ミョンニョン執事(40才)は「創世記講解を通して霊の世界があることを確信して、聖潔をもっと慕うようになりました。まるで天上の空間に来ているような感じがします」と感想を述べた。クミ万民教会のキム・ジンウル長老(47才)は「準備賛美から恵み深いです。毎週、金曜徹夜礼拝が楽しみです」と語った。上から下さるみことばの恵みを受けて、賛美と祈りを通して主へ私たちの心をささげれば、その香を受けられた神はともにおられる証拠を現してください。このような霊的な交わりを通して、他のどこでも味わえない幸せを味わっている。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒395-0807 長野県飯田市明切寺 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市中区東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光4条3丁目11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-287-7339

- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹原 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- ・岡山万民教会
〒718-0005 岡山県新見市上市567ラワーコーポB
T) 0867-72-7276
- ・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587

- ・イエス・キリスト鉢田万民教会
〒311-2102 茨城県鉢田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・京都万民教会
〒612-8154 京都市伏見区向島津田町128-1
とりまビル3F
T) 075-632-8201
- ・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市長見区下野町3-104-1
T) 045-521-5843



堂会長イ・ジェロク牧師

愛する神はすべての人が病気とかかわりがなく、健やかに過ごすことを願っておられます。ひとりイエス様がこの地上に遣わされ、誰でも信仰によっていやされる道を開いてくださいました(第一ペテロ2:24)。原因のない結果がないように、すべての病気にも原因があるので、神の公義に従ってその原因を把握し、解決すれば、すみやかにいやされることができます。

1. 病気に関する一般的な公義

1) 自分の罪によって病気にかかった場合

〈出エジプト15:26〉にある「わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上に下さない。」という箇所には、神のみことばを守り行えば、どんな病気にもかからないように守ってくださるという約束とともに、病気に関する神の公義が現れています。したがって、もし病気にかかったとすれば、聖書に記されている神のみことばに聞き従わなかったことはないのか、顧みる必要があります。また、いやされるためには、病気にかかった原因、すなわち、神のみことばに聞き従えなかったことは何か探さなければなりません。そして、そこから立ち返り、みことばを守り行ってこそいやされることができます。いやされた後は、再び罪を犯してはいけません。いやしてくださった神の恵みと愛を捨てて、また罪を犯すなら、もっと悪い病気にかかるからです(ヨハネ5:14)。

2) 罪を犯さなかったようだが病気にかかった場合

たまには罪を犯さなかったのに病気にかかることがあります。これは肉の秩序に従わなかったからです。たとえば、食べ過ぎや不規則的な食事によって胃腸に疾患が生じたり、酒やタバコに

よってがんや肝臓疾患など、からだを無理に使って生じるさまざまな病気もあります。これは神が下さったからだを愛さず、肉の秩序を破ったので、公義に従って守られなかったのです。

3) 神経性や精神的な病気にかかった場合

現代社会はストレスで満ちています。精神的な緊張、圧迫感、焦燥、疲労などのストレスに勝てないなら、心が病気になって、結局からだの病気につながります。このような神経性や精神的な疾患には、うつ病、ノイローゼなどがあります。私たちがみことばどおり、赦して、愛して、理解するなら、このような病気にかかりません。憎しみ、憤りがなければ、神経が刺激されることはありません。しかし、心に悪があって、自分の感情に勝てなければ、神経障害を起こして病気にさらされます。

4) 敵である悪魔が病気をもたらす場合

教会に通っているのに、悪霊につかれたい、悪い霊のしわざを受けたりすることがあります。これは「主を信じている」と言っても、あまりにもひどい悪を行って、ある限界線を超えたからです。それでも神の御前に徹底的に悔い改めるなら、いやしていただけます。もしその人の精神が正常でなくて、聖殿に自分から来て、みことばを聞いて悔い改めることができないなら、家族が代わりに愛をもって一つになって悔い改め、信仰によって祈りを受けなければなりません。たとえ神のみことばに逆らって真理から離れて、敵である悪魔がもたらすいろいろな病気にかかったとしても、悔い改めて立ち返り、罪から離れれば、完全にいやされることができます。

2. 特別な公義が適用される場合

いやす主

「そして、仰せられた。『もし、あなたがあなたの神、【主】の声に確かに聞き従い、主が正しいと見られることを行い、またその命令に耳を傾け、そのおきてをことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上に下さない。わたしは【主】、あなたをいやす者である。』(出エジプト記15:26)

1) 家族の罪によって病気にかかる場合

病気にかかった当事者が家族と霊的な絆で縛られている場合があります。ほとんどは夫婦や親子の間で縛られています。また、まれに兄弟の間で縛られています。かといって、誰でも家族が罪を犯せば、代わりに罰を受けるという意味ではありません。罪を犯した人を心から放さないで、何かの条件をつけて祈ることによって霊的に縛られて、家族の代わりに罪の代価を払うのです。

2) 先祖のひどい偶像礼拝によって病気にかかる場合

〈エゼキエル18:20〉には「罪を犯した者は、その者が死に、子は父の咎について負いめがなく、父も子の咎について負いめがない。正しい者の義はその者に帰し、悪者の悪はその者に帰す。」とあります。ところが、先祖代々悪魔を呼び込んで接するなど、ひどく偶像礼拝をして、代々積まれた悪が子孫の代に満ちて、呪いが臨む場合があります。

このような家庭には、不治の病、難病、わずらいの子どもが生まれて、愛が絶えないし、アルコール依存症や精神疾患患者が出てきたりします。このような家庭の人が神を信じようとするれば、霊的にひどく妨げられます。しかし、御霊に属する心に変えられるほど、サタンの影響を受けなければ、完全に御霊の歩みに入れば、先祖との絆による影響は全くなりません。たとえ先祖がひどく偶像礼拝をして呪いが臨んだ家庭に生まれたとしても、真実に神を信じる人はその呪いとかかわりありません。神は正確な公義を適用されますが、必ず愛でおおわれる方なので、すべてを働かせて益としてくださるのです。

愛する聖徒の皆さん、イエス様がむちで打たれて血を注ぎ出すことによって、すべての病を背負われたことを信じる人は、これ以上病気で苦しむ理由がありません(マタイ8:17)。

いやしと答えの神を見つけて、主の力によっていつも健やかに幸せに過ごされますように。

日本支教会5月スケジュール

5/1(日)	松本万民教会	献堂7周年記念礼拝
5/4(水)	八千代万民教会	ハンカチ聖会
5/14(土)	別府万民教会	ハンカチ聖会
5/14(土)	大阪万民教会	ハンカチ聖会
5/25(水)	松本万民教会	ハンカチ聖会
5/25(水)	飯田万民教会	ハンカチ聖会
5/25(水)	京都万民教会	ハンカチ聖会
5/28(土)	舞鶴万民教会	ハンカチ聖会
5/28(土)	名古屋万民教会	ハンカチ聖会
5/29(日)	東京万民教会	ハンカチ聖会



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

Japanese 万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区クソ3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

口から出す言葉に 気をつけていますか？



言葉には、口から出してよい言葉とよくない言葉がある。時と場所、それを聞く相手に合わせて、適切な言葉を口にしなければならぬ。箴言10:19に「ことば数が多いところは、そむきの罪がつきもの。自分のくちびるを制する者は思慮がある。」とある。いくら良い言葉でも、自制しないで口に出せば、かえって恵み深くない。自分のほうは良い意図で言ったとしても、相手は良いと受け取れないこともある。

〈マタイ15:18〉に「しかし、口から出るものは、心から出て来ます。」とあり、〈マタイ12:35〉には「良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。」とある。特に行いで罪を犯さなかったとしても、口から出る言葉に気をつけなければ、答えと祝福を運らせることもある。

〈箴言13:2〉に「人はその口の実によって良いものを食べ、」とある。自分の口から出す言葉をチェックして、口に見張り置き、祈って求めるものなら何でも答えられますように。



あらゆるむだな言葉 NO!

〈マタイ12:36〉に「人はその口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの日には言い開きをしなければなりません。」とある。もちろん、悔い改めて立ち返るとき、すべての罪が赦されるが、問題は無神経に吐き出した言葉は自分も忘れてしまうという点だ。これは私たちがむだな言葉を口に出してはならない重要な理由になる。嘘はむだなだけでなく、自分と相手にとっても害になる。相手が嘘を事実と信じれば、物質的にも精神的にも被害をこうむることがある。嘘をつくこと自体が自分にとっては神の御前で罪になる。いくらささいなことであっても、嘘で言い逃れたり隠そうとしてはならない。質問と全然関係ない的外れな答えをすることもある。特に信仰上の問題でアドバイスをするとき、相談に来た人を助けるためには、その人の問題の原因を把握しなければならぬ。ところが、的外れな答えをすれば、把握が難しく、問題が円滑に解決できない。

的外れな答えには嘘もあって、他人のせいにする言葉、言い訳もある。自分に嘘をつく心が全くないならば、的外れな答えは出てこない。多くの場合、相手の話に集中しないで、自分の思いの中で聞いているので、的外れな答えをするようになる。したがって、相手の話に耳を傾けて聞くことだけでも、的外れな答えが減らせる。

冗談とは「遊びでいう言葉。ふざけた内容の話」のことだ。事実をふくらませた話と、全く理屈に合わないむだな言葉もある。冗談をよく言う人は軽く見られて、信頼されないで、秘密の話をしたり重要なことを任せにくい。〈エペソ5:4〉に、神に愛されている子どもたちには「また、みだらなことや、愚かな話や、下品な冗談を避けなさい。そのようなことは良くないことです。むしろ、感謝しなさい。」と勧められている。

世の流行語には世の風潮が含まれている。したがって、自分も知らない間に世の風潮に染まるようになる。たとえどんな悪意も含まれていない流行語でも、天国の新しいエルサレムを望んでいる聖徒ならば、使わないことが望ましい。特に教会の庭を含め聖殿の中では、世的な話を慎むべきである。

恵みと徳になる言葉 YES!

〈エペソ4:29〉には「悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。ただ、必要なとき、人の徳を養うのに役立つことばを話し、聞く人に恵みを与えなさい。」とある。

このように、聞く人に恵みを与えて、徳を養うのに役立つ言葉が益になる言葉である。また、神に栄光を帰す言葉、信仰を植えつける言葉、いのちを生かす言葉も益になる言葉だ。したがって、ある言葉を口に出すとき、はたしてその言葉が「自分と相手にとって益になるのか」を考える習慣を持たなければならない。

自分の分を越えた言葉 NO!

へりくだった人は自分の分を越えた言葉を口にしない。したがって、心が高くなった時に、自分の分を越えた言葉が出てきやすい。

たとえば、さばいて罪に定める言葉、誰かの悪口を言う言葉が出るのだ。これは自らさばく者になるようなものだ。ただ神だけがさばく者であられる(ヤコブ4:11-12)。まして神がともにおられて愛されるしもべをさばいて罪に定めれば、神にしたことと同じなので、もっと大きい罪になる。

また、不平、不満、恨みの言葉もある。神の子どもたちは神の恵みによって永遠に地獄の火から救われて、美しい天国に行くようになった。ところが、現実的に困難がやって来たからといって、環境を恨んだり誰かを恨んだり、これは救いの恵みを忘れたも同然である。自分の分をわきまえている人はどんな状況でもただ感謝が出てくるのだ。

神の働きを進める時も同じである。心がへりくだっていても感謝して受け入れて従う。神の働きができるということだけでも感謝するからだ。一方、「私が高くてこんな仕事をしなければならぬのか」と言えば、それは自分の分を越える言葉だ。おとめマリヤは、御使いからおとめの身でみごもると言われても、「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身にやりますように。」(ルカ1:38)と言った。スロ・フェニキヤの女も、イエス様の前に徹底的に自分を低くして、変わらない信仰の告白で求めて答えられた(マタイ15:21-28)。

肯定的な言葉、信仰の告白 YES!

〈箴言18:21〉に「死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。」とある。日常生活で否定的な言葉はできるだけ使わないように努力して、肯定的な言葉、信仰の告白をする習慣を身につければならない。否定的な言葉は聞く人にも否定的な影響を与える。雰囲気や暗くして、頑張りやう意欲を失わせる。反対に、肯定的な言葉は雰囲気や明るくする。できそうだとする自信を持たせて、もう一度立ち上がれる力を与える。

少年ダビデはペリシテ人の代表戦士ゴリアテと戦ったとき、目の前の現実を見たり、否定的な言葉は一切口にできなかった。ただ全能の神だけを仰いで、信仰の告白をしながら進んだ(第一サムエル17:45-47)。結局、ダビデは石投げと一つの石でゴリアテを倒して、つらく苦しい戦争を勝利に導いた。

一方、カナンの地を探った十人の斥候の否定的な報告は、ほとんどの民に悪影響を及ぼした(民数記13:31-33)。否定的な言葉は信仰の弱い人々をつまずかせることもある。したがって、否定的な言葉が出ようとするとき、口にくつわをかけて、口の外に出さないようにする訓練をしても、いつも肯定的な信仰の告白をしなければならぬ。そうすれば、私たちの心も、周りの環境も変わるのだ。